



共同編集

自治労全道庁労働組合
本部 教 宣 部
札幌総支部 教 宣 部
札幌市中央区北3西6
TEL 231-4111
内線 33-611~4

No. 2084

2011年10月25日

さようなら原発
1千万人署名

『核と人類は共存できない』
との思いを
全国署名に託そう！

◎『やめるべ大間原発！
10.29北海道集会』

- ・10月29日(土)午後1時～
- ・函館市千代台公園
- ・参加申込:総支部組織局へ

人事委員会勧告期のたたかい 今週後半にも勧告 月例給のマイナス勧告など厳しい内容を示す ～ 昨日(24日)3回目の道人事委員会交渉を実施 ～

昨日(24日)、地公三者共闘(全道庁労連・北教組・自治労道本部)は3回目となる人事委員会事務局局長交渉を実施し、職員の実態を踏まえた、主体性ある勧告を行うよう追及しました。しかし、月例給についてはマイナス勧告を行う姿勢などが示されたことから、独自削減との二重の削減は納得できないと強く抗議。マイナス勧告を行うのなら独自削減の停止勧告を合わせて行うべきと、強く再検討を求めました。

生活実態を踏まえた勧告と 現給保障の存続等を求める



▲地公三者による人事委員会交渉で、不当な姿勢を厳しく追及。10月24日、別館11F人事委員会会議室。

このため、地公三者は改めて厳しい生活実態を訴え、「マイナス勧告の方向を示す一方、独自削減の停止勧告はできない」というのは認められない」と強く抗議。労働基本権の代償機関として主体性のある検討を求めるとともに、現給保障措置の存続に向け、再検討を行うよう強く求めました。

人事委員会勧告は、今週後半が濃厚となっていますが、引き続き勧告直前まで交渉を強化していきます。

基本賃金引き上げ等 確定期の要求書を提出

独自削減の停止、基本賃金の引き上げ等を求めた要求書(賃金確定闘争期)を、10月24日、全職場から一斉に当局へ提出しました。なお、確定期の山場は11月中旬を予定しています。引き続きの結集をお願いします。

交渉の冒頭、勧告に向け取り組んだ1,094枚13、522筆の「大型ハガキ」が人事委員会委員長あて、郵送されていることを訴え、前回交渉以降の再検討状況について、人事委員会の姿勢を質しました。

これに対して人事委員会は、現時点での検討状況として、①月例給は、民間との均衡を基本に人事院勧告の内容を考慮。公民較差の状況等からマイナス改定は避けられない、②4月に遡ってマイナスをする制度調整は必要である、③独自削減措置については、早期に適正な給与水準を確保されるよう改めて要請、④特(準)地(特)の見直しは継続検討、⑤現給保障は見直し・廃止の方向、⑥号俸の増設は現状では難しいと考えている、などの全く不満な検討姿勢を示し



▲札幌総支部 千葉委員長より総務部次長(課長代理)へ賃金確定期の要求書を手渡す。10月24日、総務部会議室。

来月
11日(金)

全道庁労連札幌総支部

2012年度 定期大会

◎11月11日(金) 午前9時30分開会(16時30分開会予定)
◎自治労会館 3Fホール(北6条西7丁目)

※1年間の闘いを総括し、参加者の討論で向こう1年間の方針を決定します。

議員
委員
の皆さんの
参加を!!

10/21「国際反戦デー北海道集会」

(主催：北海道平和運動フォーラム)

護憲・平和、脱原発の
大きな運動のうねりを
武力で平和はつぐれない!



▲護憲・平和、脱原発を札幌中心街をデモ行進し、市民に訴えた。10月21日、大通公園。

やめるべ
大間原発

10.29 北海道集会

◎10月29日(土) 午後1時
◎函館市千代台公園

NO MORE NUKES!
(原発反対!)

この集会は、大間原発の建設中止、原発のない安全な社会の実現を求め、開かれるものです。

10月21日、北海道平和運動フォーラムが主催する10・21国際反戦デーが札幌市・大通6丁目広場で行われました。

集会冒頭に山田代表は、「21世紀に入り、世界中が平和を願う中で、いまだに地球上から戦争はなくなっていない。武力で平和はつ

ぐれないという思いをさらに強くし、核も戦争もない世界を実現するために、運動を前進させよう」と、集会参加者に訴えました。

集会では「辺野古新基地建設を許さず、世界中のあらゆる戦争をやめさせ、護憲、反戦・平和、反核・脱原発の運動を大きく前進させよう」との集会決議を採択し、その後、市内中心部をデモ行進し市民に訴えました。

▶賃金確定闘争など、当面する諸闘争に全力をあげることを確認。最後に「団結力ンハロ」を参加者全員でおこなった。10月21日、ホテルライフポート札幌。



連会 経過・方針議論で54本の補強意見
道大 高橋道政との対決鮮明に
全定 新委員長に千葉利裕氏(総務部)を選出

高橋道政との対決鮮明に!

12年度全道庁労連定期大会が10月20・21日の2日間、ホテルライフポート札幌で代議員、中央委員など全道から306人が参加し開催されました。

な討論を経てすべての議案が原案どおり承認されました。

冒頭、出村委員長はこの1年間の連続したたたかひの総括を踏まえ「全道庁労連の団結力で厳しい賃金や職場への合理化攻撃をはねのけ、脱原発の取り組みにも全力をあげよう」と力強くあいさつ。

経過・方針議論では、賃金・機構課題や組織強化の課題、脱原発運動の強化などを中心に、全体で54本の意見・要望が出され、活発

12年度執行体制(札幌派遣者)では、松本副委員長(札幌支部)、鈴木財政部長(支庁支部)、成田政策情報室事務局長(出納局支部)が退任。新たに千葉利裕さん(総務部支部)が委員長、瀬上英克さん(札幌支部)が合理化対策部長、名古屋亜美さん(建設部支部)が福利厚生部長に就任しました。また、20日の連合北海道定期大会で、出村前委員長が事務局長に、永田前福利厚生部長が執行委員に選出されました。